

はこふし

伊達東地区みんなのミニコミ紙 Vol. 2

2023

秋



〈はこふし〉PRキャラ
愛称を募集中です！

主なトピックス

- トピックス：伏黒市場前に押しボタン信号
- 特集：箱崎布川団地が分譲はじまる
- 地域のうごき：伊達橋仮橋開通 / 多世代交流施設
- 図書館だより / 歴史の冒険者
- 町内会訪問① 山岸町内会

伊達東
TOPICS

令和6年3月末までに設置を予定

伏黒市場前に押しボタン信号

伏黒青果市場前の県道の横断歩道に、押しボタン式信号機が設置されることになりました。今年度中に完成の予定で、来年4月の伊達東認定こども園の開園を控えて、登下校や歩行者の安全確保につながりそうです。



信号機と停止線のイメージ（編集部作成：実際の配置とは異なる可能性があります）
©Google map



信号機の配置を担当する伊達警察署交通課によると、信号機は県道・保原桑折線に設置され、押しボタン式の歩行者横断用信号になります。現在設計中で、今後工事の入札が行われる予定です。

併せて、市場の東側の横断歩道と停止線が廃止され、市場南側に停止線②と、ゼブラゾーン③が新設予定です。

ここは児童・生徒や高齢者が

などの歩行者の多い交差点でしたが、近年の環境の変化で県道の交通量と走行スピードが増加していました。また、来年4月の伊達東認定こども園の開園で、朝夕の交通量の増加も予想されます。

このため、川東町内会連合会や地元関係団体では、市を通じ、各機関へ安全対策を要望していました。

信号機の設置で歩行者・自転車の安全が高まることが期待されます。

信号が赤のとき南側からの左折は注意を

伊達警察署の渡邊交通課長は、この信号機について、ドライバーに次のように注意を呼びかけています。

「この信号機は歩行者横断用で、県道側を規制するものです。市道から県道に入る場合は、市道側の停止線で一台一台、一時停止する必要があります。特に信号が赤で南側から進入・左折する場合、歩行者・自転車の巻き込みには十分注意してください。」

箱崎布川団地が分譲開始

住宅78戸とハシドラッグが建設予定

箱崎布川団地の敷地配置図

敷地と道路の位置を示すものです。面積や距離、道路の白線表示などは正確ではないのでご注意ください。



開発が進められていた箱崎布川団地の完了検査が終了し、住宅の建築が始まりました。分譲区画は78戸で、ほかにハシドラッグと燃料給油所が建設される予定です。

去る10月1日に箱沖町内会住民に対して、開発事業者から、団地について説明会が開催され、道路や排水について多くの質問が出されました。開発事業者は(有)ユニオンリングで、十数社のハウスメーカーが土地を取得し、分譲・建設を行います。11月現在、建売の住宅など数戸が着工していますが、本格的な建築販売は年明け以降になるとみられます。

なお、ハシドラッグは来年春ころまでの開店を予定しています。

各戸の雨水排水は地下浸透枳を備えて環境負荷を減らす構造になっています。また、公園一か所、ごみ集積所は4か所が設置されています。

町内会との関係は

同団地は箱沖町内会の区域内にありますが、同町内会の会員は15戸であり、その倍近い戸数が増えることとなるため、最終的な対応については、今後、同町内会で検討する予定です。

広告募集！

〈はこふし〉に広告を載せてみませんか？
伊達東地区は全世帯に配布、伊達西地区は全戸に回覧され、信頼性の高い地域密着の記事で、購読率は抜群です。
詳しくはホームページをご覧ください。

問合せ 伊達東地区交流館 ☎ 583-4646



(広告スペース)



なぜ市街化調整区域で 土地開発が可能なの？

市街化調整区域とは、市街化を抑制すべき区域とされ、開発が原則として禁止されています。では、なぜ、布川地区で住宅団地の開発が許可されたのでしょうか？

簡単に言うと、「伊達市が、土地所有者等による申し出に基づき、地区計画を決定したから。」です。地区計画を策定できる条件の一つに、「沿道型」（幹線道路に接していること）があります。



地区計画には「沿道型」以外に、5種類があります。例えば、堂ノ内のイオンモールは、「地域振興型」に該当しています。これは、都市計画マスタープラン等において、土地利用の方針が定められている場合です。

○箱崎原地区：「都市計画法第34条 第11号指定区域」とは

箱崎には、このほかに、原・上川原など、少しずつ住宅が増えている地域があります。

この地域は、コミュニティの維持再生を目的に、地域の実情に応じた開発行為（住宅、日用品等の小規模な店舗等）について、伊達市が許可することができる地域です。

市内では、箱崎原地区（原、上川原ほか）と伏黒東部地区（上ヶ戸、平ほか）が指定されています。詳しくは、伊達市の都市整備課にお問い合わせください。



セブン前の信号機に
右折矢印が追加
団地造成に伴い、セブナイ
レブン箱崎店前の交差点は十
字路になるため、信号機が改
修されます。

国道399号側は東西とも、
右折矢印信号が付きます。ま
た車両感知式からタイマーに
よる定周期式に変更になりま
す。（上写真）
信号機は令和6年3月末ま
でに県公安委員会が改修の予
定です。
この十字路の改良により、
朝の通勤時などで市道・伏黒
中央線（伊達東小学校前の道
路）からの車の流れがスムー
ズになることが期待されます。
ただ伏黒中央線は小中学校の
通学路でもあるため、利用す
るドライバーは十分に注意し
ましょう。



公開講座「川東の土地利用を考える」が開催される

「川東の土地利用を考える」をテーマにした公開講座が、市建設部の高橋一夫理事を講師に迎え、10月20日に伊達東地区交流館で開催されました。

川東地区協議会の地域振興分科会が、今年度のテーマ「営農と居住の調和」の第一弾として開催したものです。

都市計画の規制と誘導のしくみを学んだ後、質疑が交わされました。農家住宅や分家住宅の扱いや太陽光発電などの質問が出され、関心の高さが伺えました。

講座の講義録は今後本協議会のホームページで公開の予定です。



伊達橋の仮橋が開通

本橋の完成は令和8年以降

伊達橋の仮橋が完成し、10月29日から通行が可能となりました。

仮橋の開通日は、地元箱崎の獅子舞の披露で安全を祈願し、市長ら関係者と地元市民が徒歩で西岸から東岸へと渡り初めをしました。
仮橋は自動車専用橋となり復員7・5m、路線バス・大



型トラックを含むほとんどの車両が通行可能です。

本橋に歩道は付かず幅は1m広く

国土交通省福島河川国道事務所によると、今後本橋を解体し、その後、橋脚と橋台を再利用して補強し、橋本体の架け替えを行う予定です。完成は令和8年以降になる見込みです。

本橋の幅は1m広くなりませんが、町内会連合会などが要望していた歩道の設置については、災害による原状復旧工事であるため困難であるとの回答がありました。

仮橋の設置中は、伊達橋東端から愛宕山に向かう市道の交差点は通行止めとなります。市立図書館などを利用する場合は、北福島医療センター南側からの迂回ルートが安全です。生活道路なので通行には注意しましょう。

伊達市総合防災訓練実施

10/21 ふるさと会館などを会場に



10月21日、令和5年度の伊達市総合防災訓練がふるさと会館、伊達総合支所などを会場に開催されました。総合防災訓練は旧5町で順に実施され、伊達地区での開催は5年ぶりです。
震度7の地震により被害が発生したという想定で各種訓練が行われました。
伊達東西地区の町内会連合会も、避難と炊き出し訓

練などに参加しました。
ドローンや電気自動車などの最新機器のほかダンボールベッドや簡易トイレなどの避難用品が展示され、福祉センターで行われた救急訓練では、須田市長もAED訓練に参加しました。
伊達地方消防組合の障害車両撤去、高所救出訓練のあと、消防団による放水訓練で幕を閉じました。

伊達西

旧伊達公民館跡地に 多世代交流施設(仮称) 建築中

現在、伊達市は旧伊達公民館跡地に(仮称)「多世代交流施設」を建築中です。

建物は延べ床面積50坪の木造平屋建てで、来年春季に開所予定です。

この施設は、現在は天王通り商店街の空き店舗を借りて運営している、「まちの駅だて」を引き継ぐものです。

このため、おすそわけ市場、マルシェ、まちなかカフェ、

まちなか図書館、集会所貸し出しなど、これまでの活動は引き続き行われます。さらに、まちなかの賑わいづくりなどを目指して、集客の機能を強化する予定です。



伊達東 おたのしみ
12月 ナビ

正月飾り教室

12月20日(水) 午前9:30~

稲わらを使った昔ながらの正月飾り作りを学んでみませんか。



- ・参加料：300円
- ・定員：15名(先着順)
- ・会場：伊達東地区交流館

問 伊達東地区交流館 事務局
☎ 583-4646

聖光学院生がこども食堂

伊達ふれあいセンター

12月26日(土) 午前11:30~



聖光学院高校福祉コースの生徒たちが開く「こども食堂」の第2回目です。

こどもも、大人も、お気軽においでください。

- ・料金：大人 100円 こども 無料

問 伊達市社会福祉協議会
☎ 576-4050



太極拳体操を学ぶ

太極拳の動きを取り入れた健康体操教室が、菅野吉さんを講師に9月27日、東地区交流館で開かれました。

ゆったりとした動きで眠っていた筋肉を動かすと、介護予防にもなるということです。19人の参加者は熱心に汗を流しました。

ボッチャ教室で笑い声

静かなブームになっている、室内スポーツ「ボッチャ」を体験する教室が10月25日に東地区交流館で開かれました。

力のない人でも一投逆転でチームプレーができます。教室では笑い声が絶えず、参加者のみなさんはボッチャの魅力を楽しんでいました。



東小児童がボラ活動

11月1日、伊達東小の1年生から6年生30人が、伊達東地区交流館と東グラウンドの清掃をしてくれました。

「伊達市ボランティアの日」に合わせた活動で、子供たちは落ち葉や石ころを清掃し「いつも遊ぶ場所がきれいになってよかった」と話していました。



水雲神社 5年ぶりの山車巡幸

令和5年11月3日：お宮入り / 4日：町内回り



(広告スペース)



学習室

学習室はWiFi完備
 図書館2階の「学習室」は、中学生以上の方にお使いいただけます。
 自分のパソコンやタブレットを持ち込めます。また1階にはインターネットを使えるパソコンが1台あり、

図書館には本を借りる以外にも、たくさんのサービスがあります。今回は無料で楽しめる利用法を紹介します。

問 伊達市立図書館
 ☎ 024-551-2132



伊達市立
 図書館
 だよ



おすすめ1日コース

時間：メニュー

- 9:00 最新ニュースを新聞各紙で比較チェック！ 地方紙・全国紙7紙があります。
- 10:00 学習室で資格試験の勉強。静かな環境で集中できる！
- 12:00 飲食スペースでお昼ごはん（食べ物は持参ください）
- 13:30 雑誌を読んで最新の流行をチェック
- 15:00 自動販売機で飲み物を買ってほっと一休み
- 16:00 畳コーナーでゆったり読書
- 17:00 お家で読む本を借りて今日は帰ろう

おすすめ本コーナー
 毎月テーマを決め、季節や話題の本などのコーナー

閲覧機は1人用が12台
 1人用の閲覧機は12台あるので、自分だけの空間でリラックスして読書を楽しめます。図書館の本や約四十種類の雑誌、新聞7紙などをたっぷり読めます。
 申込みは不要で、空いている席を自由に使えます。開館時間内で何時間でも利用できます。



おすすめ本コーナー

を設けています。普段は読まないジャンルの本と出会えるかも！
 ぷらりと立ち寄る、じっくり学ぶ、どちらも楽しめるのが図書館の魅力です。お気軽においでください。

昔むかし、織田信長が天下統一の戦いをはじめた時代のお話です。
 そのころの伏黒は、あぶくま川はあたご山の北側を流れていて、洪水をくりかえしていました。人々は、上流から流れ着いた木や枝をひろってたきぎにしていました。
 村人の松浦彦之進（ひこのしん）は、ある大雨の後、いつものように川岸にやってきました。すると、大きな木のうす（臼）が流れ着いているのを見つけました。
 「こりゃあ、でつかすぎて運ばんになあ」
 うすを割ろうとおのをふり上げたとき、突然白い光があたりをつつみ、彦之進はびっくりかえってしまいました。すると光の中に人影があら

箱崎・伏黒

歴史の冒険者

れきしのぼうけんしゃ



第一話

水雲神社の大うす

われ、彦之進に言いました。「わしは水と雨雪の神じゃ。これからは、この地に住んで村人に幸いをもたらそう」
 びっくりした彦之進は、この大うすをまつることにし、近くの土地を整えて大切に埋めました。
 それから村にはよいことが続いたので、人々はおやしろを建てておまつりし、伏黒の水雲神社のはじまりになったといわれます。

実はこの大うすは、伊達政宗が敵に追われたときにかくれて命が助かり、霊力がやどったものだ、といういいつたえもあります。

いまの水雲神社の西側は、一段低い地形になっています。そのころ、あぶくま川が流れていた跡だといわれています。

（監修・水雲神社大橋宮司）



〈はこふし〉の編集を 助けてくれる人募集

レイアウト 記事執筆
取材 撮影
企画 イラスト

好きなこと、得意な分野の力を貸してください。いっしょに〈はこふし〉を育てましょう。

問 富田(伊達市伊達総合支所)
☎ 024-583-2111

箱崎の写真を募集

- ・川東地区協議会では箱崎地区の紹介パンフレットを企画中です。
- ・祭り、農作業、風景、家族写真など、なんでもけっこうです。お持ちの写真をお貸しください。

問 富田(伊達市伊達総合支所)
☎ 024-583-2111

次号のお知らせ

- はこふし次号は2月発行予定
- ・伊達総合支所が改築
 - ・町内会訪問：原町町内会 ほか

編集後記

▷はこふしは、自治組織の伊達川東地区協議会がお届けする地域ミニコミ紙です。

皆さんが関心のある話題や地域のニュースなど、はこふしで取り上げてほしい情報があれば、ぜひお知らせください。(編集委員長・佐藤)

▷今号から、はこふしは8ページで本格スタートです。取材や広告に協力いただいたみなさんにはひたすら感謝です。(集落支援員・富田)



町内会訪問 ①

〈箱崎〉 山岸町内会

案内人

町内会長・高橋典雄さん

箱崎を象徴するのは愛宕神社の獅子舞ですが、愛宕神社が建立されている愛宕山を区域に含んでいるのが山岸町内会です。

毎年4月の例大祭で神社の参道入り口に祭り旗を立てるのは、山岸町内会が担っています。獅子舞は、480年ほど前に始まったといわれていますから、古い歴史を持つ地域です。

獅子舞は4月25日に愛宕神社に奉納されます。30日には箱崎全域を廻り、山岸地区にある福厳寺(ふくごんじ)の境内で獅子舞を奉納して二日間わたる例大祭に幕が閉じられます。

福厳寺と愛宕神社とは古く



から密接な関係があります。

愛宕神社例大祭の祭り旗と旗竿は福厳寺で保管され、例大祭が近づくと獅子舞の練習が同寺で行われます。

山岸地区の見どころは、愛宕山山頂の展望台からの眺望

です。遠く吾妻山や霊山、北に半田山を望み、特に春は、桜から桃・リンゴの花が次々と咲き誇る眺めは絶景です。また、伊達町の果樹栽培は箱崎から始まったという話も聞いています。

山岸町内会の会員は現在49世帯ですが、他の地域と同様に高齢者の一人・二人暮らしが増えていきます。従来からの行事の維持が難しくなり、災害時にも不安があります。このため、今後は地域内で若い世代に行事への参加を呼びかけたいと考えています。

次の時代にも、伝統を引き継ぎながら、暮らしやすい地域にしていきたいと思っています。

(広告スペース)